

地元食材でおいしい給食を

工夫をこらしてアイディア料理



▲コンテストのようす



学校給食アイディア料理コンテストは、12月25日にいちばん館で行われ、参加者らが地元食材を使った自慢のアイディア料理を作りました。

今回参加したのは、高橋園枝さん（長泥）のほか飯館中学校3年の佐藤

千枝さん、佐藤恵さん、高池宏実さんの合わせて4人。それぞれに地元の野菜を使って煮物やスープ、デザートなどを作りました。

審査は給食センター所長（村教育次長）と調理員など8人が審査員となっ

て行われ、審査の結果、いずれの作品も優秀賞を受賞しました。

なお、今回の料理は3学期中に、給食のメニューとして出される予定です。

紙芝居と工作で冬のひととき

冬のお楽しみ会



お話し会「あい」（代表・鈴木美智子さん）が主催する冬のお楽しみ会は、12月20日にビレッジ

ハウスで行われ、子供たち40人が大型紙芝居や工作などを楽しみました。

この日登場した大型紙芝居は「笠こ地蔵」。大型でインパクトの強いこの紙芝居に、会場の子供たちはじっと絵を見つめ、会員らが感情を込めて読

むお話しに聞き入っていました。

また、新聞紙とトイレットペーパーの芯を使ったゴム鉄砲作りやおやつのカナッペ作りも行われ、子供たちはゴムを飛ばし合ったり、果物や生クリームをクラッカーにのせたカナッペをおいしそうに食べながら、冬休みの楽しいひとときを過ごしていました。